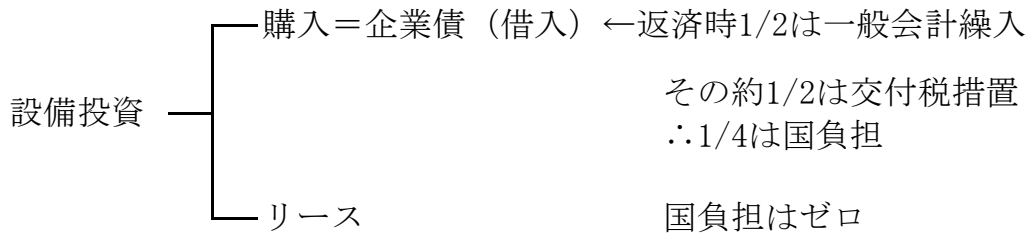


# 資金不足比率について

1



2

(1)

資金不足比率  $\geq 10\%$  → 企業債発行(借入)は不可  
 ※10%以上となった翌年から

(2)

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{累積資金過不足}}{\text{医業収益}}$$

	H26年度	H27年度	H28年度
前年度からの繰越	0.5億円	△ 9.0億円	△ 19.9億円
当年度資金過不足	△ 9.5億円	△ 10.9億円	?1
翌年へ繰越	△ 9.0億円	△ 19.9億円	?2

→ 累積資金過不足

(3)

医業収益(約180億として)  $\times 10\% = 18$ 億円  
 → 29年度に企業債発行(借入)可能な条件は、「?2」が△18億未満  
 「?2」が△18億未満となるためには、「?1」は+1.9億以上

3

(1)

当年度資金過不足の状況

(資料の「小計(A+B)」欄)

当年度資金過不足 = 「償却引当利益」 + 「資本的収支」

H27決算

$$\Delta 10.9 \text{億円} = \Delta 3.4 \text{億円} + \Delta 7.5 \text{億円}$$

基本的に [設備投資] = [企業債発行] なので、  
 資本的収支  $\div$  借入返済 - 他会計負担金 + リース債務返済  
 → 過去からすでに決まっている変えられない金額

(2)

H27決算で当年度資金過不足をゼロにするためには

「償却引当利益(資料の「小計(A+B)」欄)」  $> +7.5$ 億円

H28で次年度から企業債発行可能とするためには、

「償却引当利益(資料の「小計(A+B)」欄)」  $> +10.7$ 億

→ 予算(執行計画: +0.1億)に+1.8億の上乗せが必要